

2021年11月5日金曜日

23目標 入門・基礎マスター期 11月Q&Aセミナー 概要

セミナー：平林 [財理・個別相談]

Q&A：小野[財計]・平林

※本セミナーは、後日web school「講座からのお知らせ欄」にてアーカイブ配信します。PC版Google Chromeであれば、「Vimeo repeat & speed」という拡張機能を入れることで、最大3倍速で再生可能です(視聴期限:2023年8月末)。



本日の内容

I 入門・基礎マスター期のポイント、スケジュール・・・・・・・・・・4

参考：全期間スケジュール目安と各時期のポイント・・・・・・・・・・9

（上級期、短答直前期、12月短答後、論文直前期、論文後）

II 事前にいただいたご質問・・・・・・・・・・16

- ・ 企業法 条文について ・ 受講ペースについて ・ 総合問題の対策
- ・ 簿記1級を学習済みの場合 ・ 音声ダウンロード ・ 短期合格者の特徴
- ・ スキマ時間の活用 ・ 試し受験 ・ 上級講義の講義数目安
- ・ 専念になる時期 ・ 休みの取り方等

III 各種質問・相談窓口・・・・・・・・・・34

- ・ 校舎/zoom質問コーナー ・ 個別成績/学習方法相談
- ・ TAC会計士講座 就職サポート

*各科目の学習法について

2021年9/10(金)実施の23目標入門・基礎マスター期学習法ホームルームで、以下の内容を詳しくお伝えしています。

視聴がまだの方は、Web School「講座からのお知らせ」欄リンクから、アーカイブ動画とレジューメをご覧ください。

8月論文までのスケジュール、各種講義の回数目安

短答/論文式本試験のポイント、論文式本試験成績の決まり方

各科目の講義後の復習サイクル・学習方法の例（計算ミスの一元化例、計算科目 上級期のメンテナンス例、一日のスケジュール例）

I 入門・基礎マスター期のポイント、スケジュール

1. 財務計算・管理計算の計算力を付ける。

トレーニング・テキスト例題について、スラスラ・ストレスなく解ける状態にする。

間違った箇所・解答時にストレスを感じた箇所について、テキストに立ち返る。

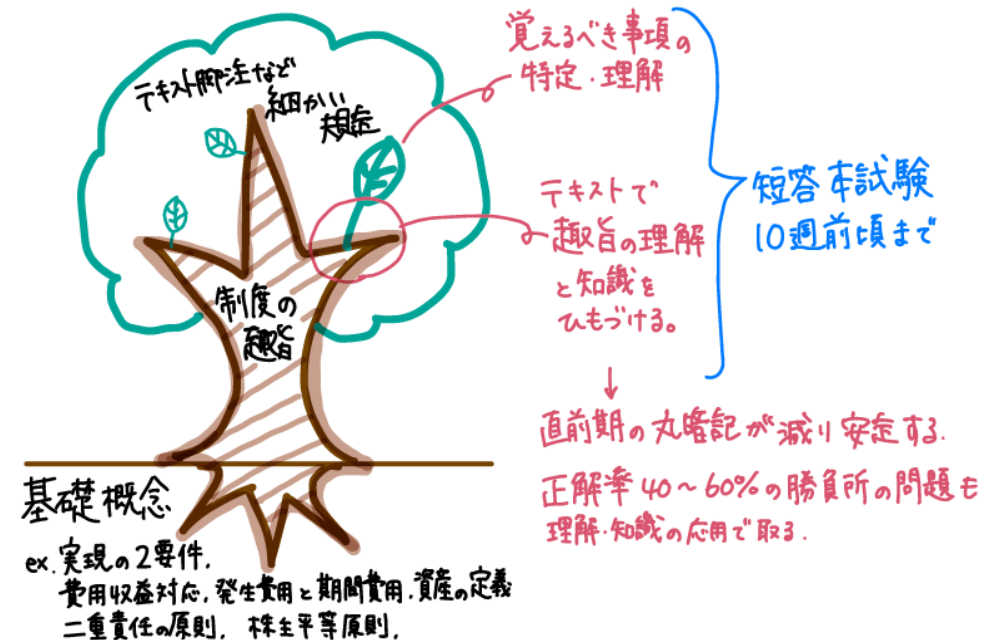
インプット不足の解消・やさかしミスの分析/一元化を行う。

2. 理論科目は、テキスト等の内容をある程度説明できるようにする。

3. 5月のゴールデンウィークや、各科目上級講義開始時期を中期目標とする。

講義消化・復習・計算の反復練習について、自分なりに積み残しのない状態に。

1.5年コースの場合、財計上級は7月頃～、管理上級は6月頃～。理論科目は、2年コースと合流。



★実力テスト・パワーアップ問題で未受験があれば、受験・提出。(全国模試以外は、締切を過ぎても採点・成績反映される。)

I 入門・基礎マスター期のポイント、スケジュール

※HPの配信日程表、校舎ライブ授業の日程表や、
22目標の日程表をスケジュールの目安として活用する。

財計は今年は立川校が比較的通信生に近い。
収録は新宿校で実施。

収録から3～5日後 講義先行配信
収録から5～7日後 講義録配信

cf. 昨年度の講義日程 確認方法

「@CPA」→「講義日程」

→2022合格目標コース[入門期・基礎期][上級期]

(「上級本科生」は受験経験者向け)

I 入門・基礎マスター期のポイント、スケジュール

■12月短答までの大まかなスケジュール(2年コースの場合)

入門・基礎期(～5月)

9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
----	-----	-----	-----	----	----	----	----	----

財務計算 入門・基礎マスター講義(BMⅠ:15回 BMⅡ:16回 BMⅢ:11回+補講3 BMⅣ:11回)

管理会計 入門・基礎マスター講義(入門:9回 BM:21回)

企業法 入門基礎マスター講義(23回)

財務理論 入門講義(16回)

監査論入門講義(5回)

I 入門・基礎マスター期のポイント、スケジュール

■入門・基礎期（～5月）における学習のポイント！

全般 自習の比率・頻度の目安

財計: 4～6、管理: 2～3、財理: 1～3、監査: 0.5～1、企業: 0.5～1

上級期は理論の学習時間も多く入ってくるため、5月までに計算BMを固められるかが勝負！

1月頃まで

財計 管理 のトレーニング+テキストが自習のメイン。スラスラ解ける+あらゆるミスを一元化
管理…テキストを大事にしつつ、トレーニングを自信を持って解ける状態に。

解き方に詰まったら、例題を見ながらあてはめる。

企業も講義の復習。

年末年始

年内に学習した内容を年末総復習

テキスト・トレーニング・実力テスト・パワーアップ問題

2月

財理の講義がスタート

確認問題、章扉を使用し、講義後に復習

2月頃

5月短答出願

I 入門・基礎マスター期のポイント、スケジュール

■入門・基礎期（～5月）における学習のポイント！

3月

監査論の講義がスタート

4月

2年コースは財計の上級講義がスタート

5月

基礎マスター期の積み残しをなくす。理論科目も上級までにざっと復習

cf.社会人受験生の場合の自習の配分（5月頃までの目安）

■自習は財計・管理・財理に大きく充てる

■企業・監査はスキマ時間で

■財計論点チェックリストや管理のフォーマット思い出し等でこまめに点検

5/29(日) 短答式本試験（試し受験）

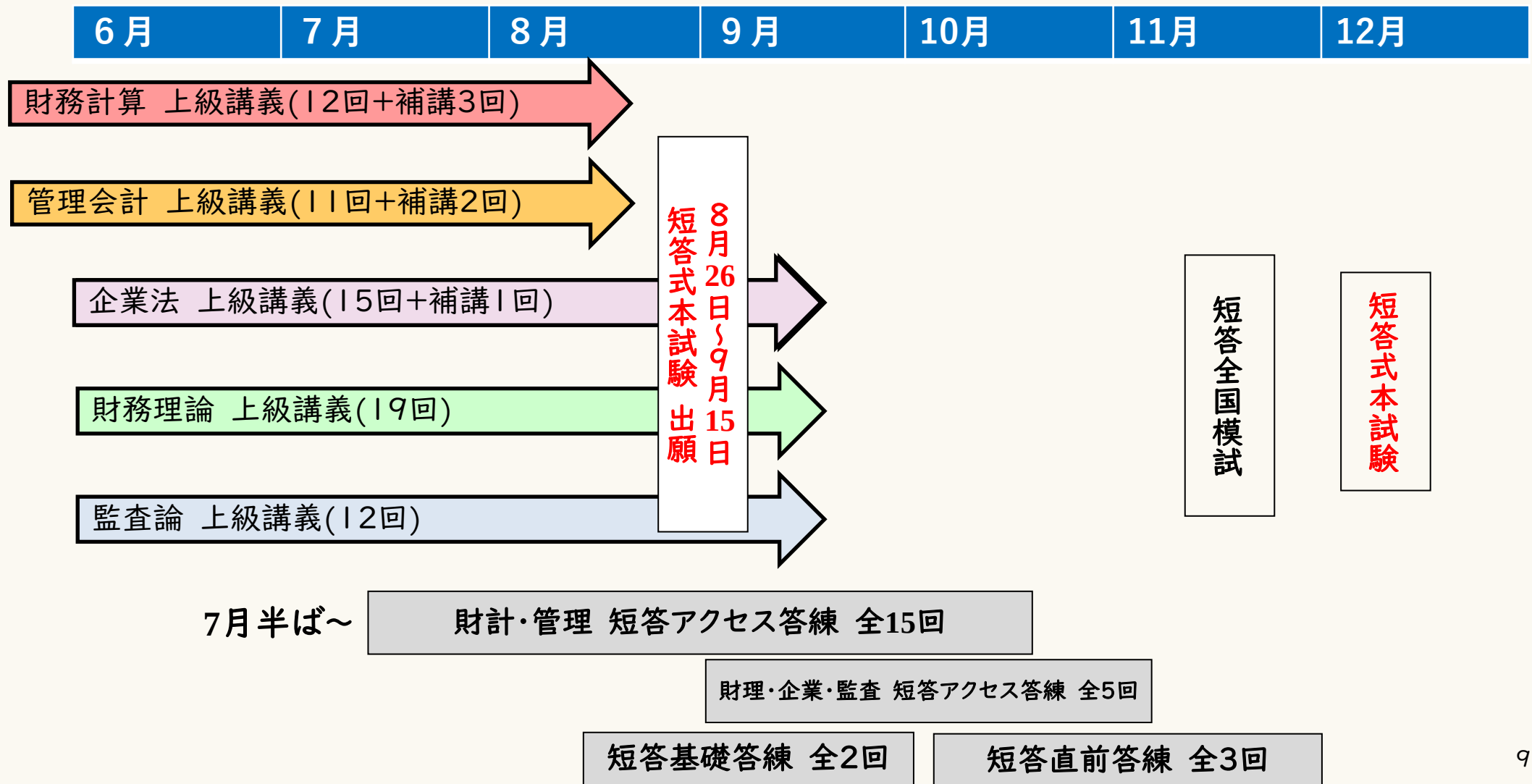
既習範囲のテキスト、トレーニング、ミニテ、実テ、できればパワーアップ問題を復習。

ミスを一元化したものを確認して受ける。

入門・基礎マスターを総復習して受ける（特に財計、管理、財理）。

【参考】上級期以降、12月短答までの大まかな配信・答練スケジュール

※理論科目は2年コース・1.5年コース共通



【参考】上級期（6月～9月）における学習のポイント

財理の上級講義は計算処理の理解を前提として進む。財計について消化不良を起こすと、上級期の財理の学習の妨げになる恐れあり。

→財理のためにも、上級期に入る前に財計を固める！

6月 財計以外の上級講義がスタート。簿記1級実施有り。

6月～9月

理論科目は、理解すべき
事項・覚えるべき事項を特
定し、不明な点を解消する。

8月26日～9月15日
12月短答式本試験 出願

8月末 短答基礎答練1

理論科目は前半のみ。
計算は全範囲（主に基礎マスター論点）。

9月下旬 短答基礎答練2

基本的には全範囲（企業はテキスト②のみ）

7月半ば～財計・管理 短
答アクセス（各週1回ず
つ・全15回）

準備して受ける。正確性・
スピード維持のための回
転教材として、繰り返し解
く（網羅性はテキストで）。

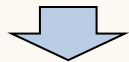
計算が定着し始めたら、
理論科目の比重を徐々に
増やしていく。

9月～ 理論科目
短答アクセス（全5回）
出題範囲あり。
復習を進めつつ、4肢
で判断する練習。

【参考】短答直前期（10月頃～）のポイント

- ① テキストの理解を土台として、暗記を詰めて行く。暗記箇所や苦手な箇所はふせんを貼るなど、強弱を付ける。
- ② 残りの答練・全国模試を通じて、時間配分や試験中の行動などを修正。
正解した問題・記述についても、あやふやな点がないか丁寧に復習する。
- ③ 毎日全科目取り組む。得意科目を放置しない。特に直前2週間は、財務計算・管理計算のアウトプット練習（正確性・スピードの維持）とテキスト等で論点1周確認。
- ④ 体調・メンタル管理。睡眠を大事に。

10月中旬 短答直前答練2



11月第3週頃 短答全国公開模試



11月下旬 短答直前答練3



2022年12/11(日) 短答式本試験

自分なりに仕上げた状態で受ける。難易度Aや正答率の高い問題の得点状況の分析。やらかしミスをゼロに。

模試当日が本試験でも構わない状態が理想
※ 模試前に完璧に覚えたものも、放置すると3週間で抜けてしまう。
知識・記憶が新鮮な状態になるように再度点検しておく。

暗記&計算メンテナンス。
特に最後の2週間は、計算科目の論点1周を意識。

いつでも頭から知識が取り出せる状態。

【参考】12月短答以降、8月論文までの大まかなスケジュール

(経営学を科目選択している場合)

12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
-----	----	----	----	----	----	----	----	----

租税法 基礎マスター(法人7回)・
上級(所得・消費8回、
応用9回、理論3回)講義

経営学 計算10回、理論7回

論文全国模試1

論文全国模試2

論文式本試験

財計・管理 論文アクセス答練 10回

財計・管理 論文
アクセス答練 4回

租税計算 アクセス答練 9回

租税計算
アクセス答練 2回

論文基礎答練

論文応用答練

問題文の読み取り、
問への素直な答え方を
身につける。
出題範囲の指定あり。

部分点の取り方、
時間配分の練習等。

短答全国模試
5月向け

5月短答式本試験

5月短答を受ける場合、
詳しくは次ページへ

【参考】12月短答後、来年の5月短答を受ける場合

2023年1月～3月

状況によるが、**財計・管理**論文アクセス、短答科目の**論文基礎答練**を活用(できれば応用も)

2月上旬～下旬
5月短答出願

使い方は12月短答後のホームルームで説明します。

3月末まで

理屈重視、不明点の解消。

租税、**経営**の講義を無理のない範囲で進める(租税15回分、経営10回分が目安)。

3月下旬 5月向け短答直前答練1

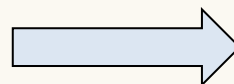
4月中旬 5月向け短答直前答練2
5月上旬 5月向け短答全国公開模試
4月中旬 5月向け短答直前答練3

4月～ 短答直前期

租税、経営はストップ。

テキストの理解を土台として、
暗記詰め、計算メンテ。

2023年5/28(日) 短答式本試験



6月第3週金曜 合格発表

【参考】論文直前期のスケジュール目安

(経営学を科目選択している場合)

6月

論文直前講義 各1回

論文直前答練1・2

出題範囲
なし

財計・管理
論文
アクセス答練
11-14

財計は
出題範囲
有り

出題範囲
有り

租税計算
アクセス答練
10・11

租税法
残りの
講義
(または
短期集中
講義活用)

経営学
残りの
講義

7月

6月末頃 論文全国模試2

論文直前答練3
(監査企業のみ4回目あり)

出題範囲
なし

全科目満足水準までもっていけるか？
本試験を想定して直前・当日の過ごし方を試す。

7月末 論文答練本試験前返却答案 採点受付締切

8月

これまでの教材を回転!テキストを大事に全科目1~2週間以内に1周など暗記系は頻度をアップ。
特に最後の2週間は、計算科目の論点1周とメンテナンスを意識(正確性・スピード・網羅的な知識)。

2023年8/18~20(金・土・日) 論文式本試験

【参考】論文式試験後、就職活動・入所までの流れ

論文本試験後9月

論文の手ごたえに関わらず、
法人説明会に参加。

11月第2週金曜 合格発表後

数日以内にエントリーシート提出、面接開始

12月上旬 内定

12月中旬 or 2月頃 入所

TAC就職サポートの
法人合同説明会、マナー研修、
進路相談・エントリーシート添削、
面接練習等を活用する。

Ⅱ 事前にいただいたご質問

Q.トレーニングはスラスラストレスなく解けるようにして実力テスト・パワーアップ問題に臨みましたが、全く歯が立たなかったです。何を意識すればよいでしょうか。

A.

考えられる原因

- テキストのうちトレーニングに出ていない論点が手薄になっていた。
- トレーニングなどを復習してから、実力テスト・パワーアップまでに、2週間を超えていた。
- テキストを眺めるだけで、実際に解く時間を取っていなかった。
- やらかしミスの防止策を取っていなかった。

改善例

- ◎毎回のテストはできるだけ準備をして受ける。
- ◎テスト前10日～2週間程度以内に、テキスト(論点チェックリストも活用)の確認を1周行う。
- ◎実際に解く時間を、毎日30分～1時間ほどずつは確保する。

Ⅱ 事前にいただいたご質問

Q. 企業法の条文の番号は今から積極的に覚えていった方がいいでしょうか。

A. 覚えてほしいと言われた超重要条文は、テキスト上でその旨を大きく強調しておきましょう。

何回も見ていると自然と覚えてきます。

六法は目次があります。

条文を見る時はできるだけ毎回目次から見ると全体像がわかりやすいです。

「株主総会は大体300条あたりなんだな」など分かればOKです。

Ⅱ 事前にいただいたご質問

受講ペースについて①

Q. 受講をどんどん進めていくとその分復習すべき量が当然増えてくるのですが、復習に力を入れると受講ペースが遅くなり、受講ペースを意識すると復習が疎かになってしまいます。

A. 以下を意識しましょう。

- 復習が多少不足していると感じても、講義受講ペースは崩さない（校舎の日程を参考にする。）。不足した分はできるだけその週中にカバーする。
- 進むペースと併行して、これまでの復習を進める。

ex. 一日の自習のうち、10～20%ほどをこれまでの復習に充てる。

土曜日など、振り返りの学習をメインとする曜日を定める。

Ⅱ 事前にいただいたご質問

受講ペースについて②

Q. 体調不良で欠席してしまい、欠席した授業からWebで受講していますが、欠席した分の視聴が遅れてしまったので、授業よりペースが少しずつズレてしまい遅れています。リカバリーの方法や、今後の進め方など、教えていただきたいです。

A.

ライブ講義だと、実力テスト前や次の基礎マスター開始などに1回分空くことが多いです(月木月月、など)。

土日などで+1回受けたり若干早めて追いつくか、今以上に遅れないようにしっかり曜日を決めて、早めに講師に質問・相談へ行くようにしましょう。

講義は基本的にWebで受講して、校舎で質問を活用、という進め方もあります。

Ⅱ 事前にいただいたご質問

受講ペースについて③

Q.ビデオブースで講座を受けているのですが、講座は基本的に視聴可能になった日に受けていくのがやはりベストなのでしょうか。ちなみに1.5年L本科生で、現在配信開始日より約1週間遅れて受講している状況です。

A.

はい、新宿校での収録講義実施の概ね3～5日後に配信されていますので、配信とほぼ同時に受けると自然とライブ校舎と同様に受講・復習のペースがつかみやすくなります。

ただし、講義録配信はタイムラグがありますので、「講義録配信日」に合わせるのがおすすめです。

Ⅱ 事前にいただいたご質問

受講ペースについて④

Q. 配信スケジュールから約1カ月ほど遅れを取っています。企業法や管理会計論基礎マスターについても、約半月ほど遅れてしまっています。

時間がかかっても着実に理解して次に進んだ方がいいのか、スケジュールに追いつくことを優先してガンガン進めた方がいいのか教えてください。

A. 以下に注意して進めましょう。

- 講義の曜日・ペースは、理解が多少不十分と感じても決めた日程どおり進める。実力テストやパワーアップ問題の実施が近づいても、通常の講義受講日程はずらさない。
- テキストを読んでもわからない時は、講義を受け直すのではなく質問へ。
- 現在財務計算で1ヶ月、企業/管理が半月ずれているということなので、「若干」ペースを早める（極端な倍速で毎日ガンガン進めたり、トレーニングやミニテストを受けずに進めたりすると、後で復習が苦しくなることが多いです）。

Ⅱ 事前にいただいたご質問

受講を早める場合 講義のペース例

財務計算…月・木の週2回配信→追いつくまでは2日おきとする
(軽めの回は1日おきなど)。

管理・企業法…週1回ずつの配信→追いつくまでは3～5日おきとする。
もしくは企業は1・2チャプターずつ週数回など

ex.月 財講義→復習1回目 企講義1/3コマ→30分復習

火 財復習2回目 管講義→復習1回目 企講義1/3コマ→30分復習

水 財復習3回目 管復習2回目 財BMI復習(実力テスト・トレ)

企講義2/3コマ→1時間復習

木 財講義→復習1回目 企講義1/3コマ→30分復習週前半の振り返り

金 財復習2回目 管復習3回目 企講義2/3コマ→1時間復習

土 財復習3回目 管講義→復習1回目 財BMIの復習(実力テスト・パワー
アップ復習)

日 財講義→復習1回目 午後予備日(今週分の積み残しがなければ休み)

夕方からは完全オフ今週の振り返り

Ⅱ 事前にいただいたご質問

総合問題の対策

Q.実力テストでは、それなりに良い点数を取ることが出来るのですが、パワーアップ問題のような総合問題では悲惨な点数になってしまいます。

A.

まずは復習で、以下の総合問題の解答手順に慣れる。

問題を見てどんな問題が出ているのか数字を使わずにざっと分析
(ex.有価証券C, リースA, 現金A..)



解答箇所と各論点の紐付きを検討する (ex.営業利益, 支払利息..)



解く順番を決める

Ⅱ 事前にいただいたご質問

既に簿記1級を学習済みの場合

Q.TACに入る前に、簿記1級まである程度進めていました。現在余裕があるため、論文を見据えた勉強をしたいのですが、基礎マスターI・IIで具体的にどのようなことをすればいいですか？

A. 実力テスト・パワーアップ問題などの総合問題を中心として復習するのが効果的です。

ex.

●個別論点（テキスト1～4、テキスト10一部）…トレーニングで基本的な処理を押さえた後、実力テスト・パワーアップ問題を繰り返し解き、テキスト確認。苦手な問題はトレーニングも反復。

（他の科目も含めて全て完璧なら、TAC受付で売っている「新トレーニング簿記」のうち気になる論点を選んで使ってもOK。）

●構造論点（テキスト5～9、テキスト10一部）…テキストと実力テスト・パワーアップ問題を中心。

Ⅱ 事前にいただいたご質問

音声ダウンロードについて

Q.教室講座ですがwebで各先生の講義を拝見したところわかりやすく、いいお声をされていて感動。

ダウンロードしオーディオブックの様に拝聴させていただいています。

そこで質問です!徒歩での通勤通学でwebが視聴できない場合、オーディオブックとして勉強する時オススメの科目はなんですか?(社会人)

↓

A.徒歩やランニング中だと、1度受講済み理論科目の講義を、等倍で聴く方が多いです。

Ⅱ 事前にいただいたご質問

短期合格者の主な特徴

Q.短期合格していく受験生の特徴をお聞きしたいです。

↓

A.以下のケースが多い印象です。

■基礎マスター期に計算をやりこんでいる。

■詰まったら講師に質問・相談している。

順調でも今後の予定を講師に確認している。

■スマホ・ネットとの距離の取り方が適切

(ロッカーやリビング、決めた時間まで開かないボックスに入れるなど)

Ⅱ 事前にいただいたご質問

スキマ時間の活用

Q. 社会人です。スキマ時間の活用方法を教えてください。

A. 以下、参考にしてください。

■ 計算論点チェックリストを見たり、スマホに重要ページの写真を撮り確認。
時間がまとまって取れない分、頻度を上げる。

■ 講義を受けた直後、テキストをざっとパラパラめくる。当日・翌日中にざっとでも復習。復習不足は土日でキャッチアップする。平日に受けたミニテストは週末にもう一度復習。

■ 企業法の復習は電車だけで、とする。

Ⅱ 事前にいただいたご質問

5月の試し受験について

Q.基礎マスターの知識だけで、短答でどのくらい取れますか？(学生)

A.

難易度や出題論点にもよりますが、概ね以下のイメージです。

財務会計 計算55-80点、

理論3問～5問/9・10問(24-40点)

管理会計 計算2～4問/8問(14-28点ほど)、

理論2～3問/8問(10-15点)

企業法 45-稀に70点

監査論 25点～(入門期から厚めに理解を固めていると、
稀に50点を超えるケース)

Ⅱ 事前にいただいたご質問

会計士試験の難易度

Q.会計士の勉強は大学受験と違い、範囲が想像し難いです。また、難易度も想像しにくいです。ちゃんと勉強すれば受かるとよく聞きますが、本当に勉強すれば合格出来ますか。

A.

カリキュラムが徐々にハードになってきますが、今予め計算をやりこんで置いてカリキュラムに食らいついていくことと、困った時には、解く回数や講義聞き直してカバーというよりも、テキストを読み、わからなければ講師に質問・相談して解消していくことを意識しましょう。

初期に計算をやり込んで適時に質問・相談している方の場合、
短答論文まで比較的スムーズに（一時的に成績が伸び悩む時期はありつつも）合格されていきます。

Ⅱ 事前にいただいたご質問

上級期の講義数目安

Q. 入門・基礎マスター期を1と考えた時に、
上級の講義ペースはどれくらいでしょうか。

A.
週あたりの講義数でいうと、ざっくり以下のイメージです。
入門期…週4回（財務計算週2、管理週1、企業週1）

○来年6月頃から…週6・7講義 +7月からは週2回「アクセス答練」
（解説含めて1～1.5時間ほど×財計・管理毎週1回ずつ）
＝週およそ7コマ～8コマ＝入門期の1.75～2倍

○来年8月下旬～…上記+3週間に1度ほど、各科目短答答練
（解説含めて1.75～3時間）実施×4科目
＝週およそ7～9コマ＝入門期の1.75～2.25倍

Ⅱ 事前にいただいたご質問

専念になる時期

Q.専念するとして、早ければ早い方がいいと思いますが、いつぐらいから専念に切り替える方が多いでしょうか。
(社会人受験生)

A.

勉強開始前、短答前の6月頃、8月頃、12月短答後、5月短答後、論文試験実施後、論文合格発表後など、現在の職場を辞める時期は皆さんさまざまです。

仕事を辞めて受験専念にするか、もしくは監査法人や会計事務所で働きながら受験を継続するかなど色々な選択肢がありますので、ぜひ以下の就職サポートで相談してみてください。zoomを使ったオンラインでの相談も可能です。

TAC会計士講座 就職サポート

フリーダイヤル 0120-527-699 (平日14~17時)

メール counselor@tac-school.co.jp

Ⅱ 事前にいただいたご質問

休みの取り方

Q.皆さんどのようなペースで休みを取っているのでしょうか。学習専念生ということもあり、休むことに罪悪感を感じます。

↓

A. 1日・1週間の中で、身体的・精神的にも少し緩める時間を意識的に取る方が、結果的には効率よく進められるはずです。

半日～1日のバッファーを作って、予定通りに進んでいたらその日は計算のメンテのみ、というやり方もあります。

夕方に走る/筋トレする、夜22時～23時はお笑い動画や音楽を楽しむ、月に1回はかなり軽めの日を作ったりいつもは行かない校舎へ行く、などされている方もいらっしゃいます。

Ⅱ 事前にいただいたご質問

その他

Q.2年コースと1.5年コースで合格率の違いはありますか（学生）。

A.

1.5年コースの場合、7月頃からのアクセス答練時にどうしても反復練習が足りない論点があり、ペースを作るのに悩む方が多いです（2年コースの方も、同様に苦しくなる時期です）。

1.5年コースの場合でも、学習初期からこまめに計算トレーニング・テキスト復習とミス一元化をしつつ各科目講師に質問・相談している方の場合、短答論文共に、そこまで合格率に違いはない印象です。

Ⅲ 各種質問・相談窓口（校舎・zoom質問コーナー①）

今後の学習の進め方のほか、いろいろな事情で思うように勉強が進められず学習方針などに悩んでいる場合には、講師、受付、就職サポートの相澤までぜひお気軽にご相談ください。

校舎・zoom質問コーナー

科目ごとの内容質問・学習の進め方等について、講師に直接相談可能。
事前予約は不要。混んでいる時は15-20分ほど目安。

質問コーナー日程表（受講生HP「@C.P.A」）

https://www.tac-school.co.jp/kouza_kaikei/kaikei_gd_situmon.html



zoom質問コーナーへの参加方法

…web school下部「zoomを利用した質問・相談コーナーについて」
リンクから待機室へ

Ⅲ 各種質問・相談窓口（校舎・zoom質問コーナー②）

Q.

zoomの質問コーナーを使ったことがないのですが、
自分の順番の時間は分かるのでしょうか。
ログインしたままずっと待つ感じででしょうか。

A.

開始時刻の目安をチャット欄でご案内します。
開始時刻の目安は、講師が質問対応の合間に、手動でチャット入力しています。
目安が出るまで、恐れ入りますが、20分～長くて30分ほどお待たせすることがあります。ご承知おきください。

Ⅲ 各種質問・相談窓口（個別成績・学習方法相談）

個別成績・学習方法相談（^くの久野/平林/蓮尾/塚本）

- 毎週土曜日13時～次週分をネット予約受付
<https://tacschool.resv.jp/>

※校舎・zoomで実施しています。

※個別成績・学習方法相談の予約が取れない場合には、
上記予約不要の校舎/zoom質問コーナー
（財務理論・平林/蓮尾）でも短時間ではありますが
学習相談を承っています。そちらもご利用ください。

- 個別成績・学習相談日程表（受講生HP「@C.P.A」）
https://www.tac-school.co.jp/kouza_kaikei/seiseki-sodan.html



Ⅲ 各種質問・相談窓口 (TAC会計士講座 就職サポート)

TAC会計士講座 就職サポート

フリーダイヤル 0120-527-699 (予約不要 平日14~17時)

メール counselor@tac-school.co.jp

※ 監査法人への就活・転職以外にも、会計事務所等や一般事業会社への就職・転職や、仕事を辞めて受験専念にするか、卒業後働きながら受験を継続するか、受験対策を辞めて就職する場合のエントリーシートの書き方等の相談などありましたら、ぜひ相談してみてください。

※ zoomを使ったオンラインでの相談も可能です。